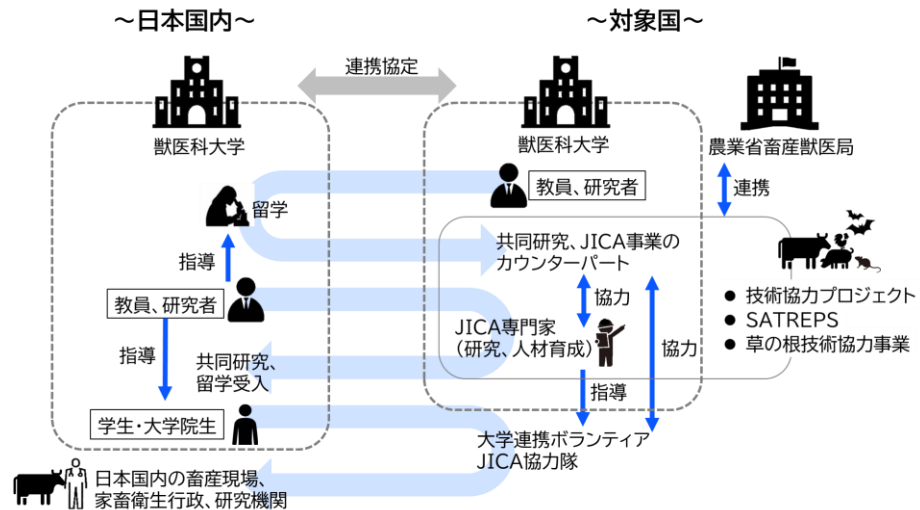


持続可能な畜産振興 ~ワンヘルス推進に向けて~ (実施中の一部案件)

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を



国際頭脳循環



● 事例2



ザンビア国 ザンビア大学獣医学部臨床教育強化プロジェクト（技術協力）：2021年～2025年



- 北海道大学とザンビア大学の連携
- 獣医学部教育カリキュラムの改定
- 獣医学部の診断・治療能力の強化

● 事例1



モンゴル国 公務員獣医師及び民間獣医師実践能力強化プロジェクト（技術協力）：2020年～2025年



- 北海道大学とモンゴル生命科学大学の連携
- 獣医師向けの定期的な卒後研究・研修コースの整備

[公務員獣医師及び民間獣医師実践能力強化プロジェクト | ODA見える化サイト](#)

● 事例3



ウガンダ国 マダニ媒介感染症制御による畜産農家支援プログラム（草の根技術協力）：2020年～2024年



- 帯広畜産大学とマケレレ大学の連携
- 畜産農家に対するマダニ感染症の啓発
- 獣医師・畜産技師による定期的なマダニ駆除プログラムの実施

他スキームとの連携（草の根技協×協力隊）

● 事例



ウガンダ国 ムバララ県安全な牛乳生産支援プロジェクト
（草の根技術協力）：2016年～2019年

- 衛生的な搾乳方法の指導
- 牛乳の安全性と生産量の向上
- 案件終了後の持続的発展のため、実施団体（酪農学園大学）による大学連携ボランティアを継続派遣
- 本案件による成果を右記SATREPS案件に応用



[酪農学園大学とJICA海外協力隊（大学連携）に関する覚書を締結しました | 2019年度 | トピックス | JICA北海道（札幌） - JICA](#)

分野横断的な取り組み

● 事例



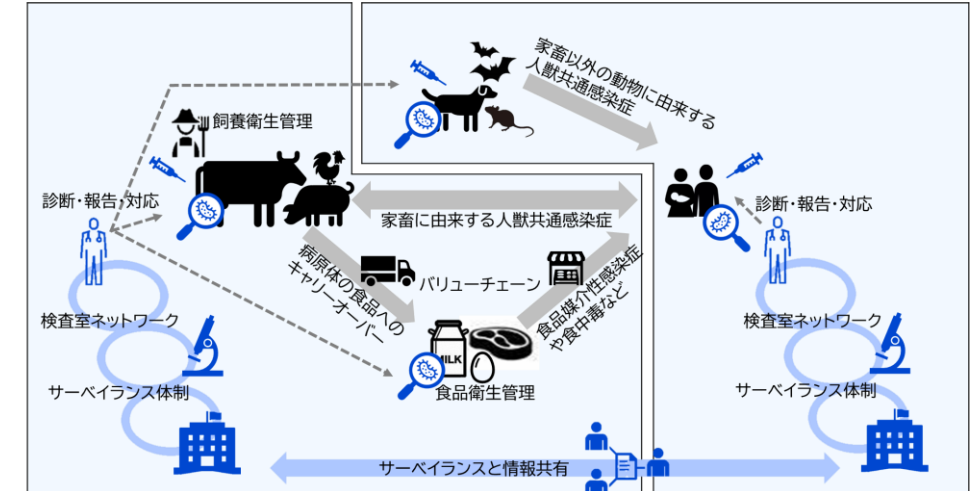
タンザニア国 ワンヘルス・教育・官民連携による
顧みられない人獣共通感染症介入の共同デザインに
関する研究開発（SATREPS）：2024年～2029年

- 獣医・保健セクターの連携による人獣共通感染症の制御法の開発
- 教育セクターとの連携によるコミュニティへの感染症教育
- 感染症データシステム、教育用VR等のDXの活用



持続可能な畜産振興～ワンヘルス推進に向けて～クラスター
（農業セクター）

感染症対策・検査拠点強化クラスター
（保健セクター）



国内リソースの活用

● 事例



家畜疾病の診断とサーベイランスのための基礎技術能力強化（課題別研修）

- 農研機構動物衛生研究部門を主体とする、途上国の獣医師への家畜疾病診断技術の指導
- 都道府県の家畜保健衛生所にて、家畜疾病の発生時の初動体制を学ぶ
- 国際獣疫事務局（WOAH）アジア・太平洋事務所にて、感染症制御の国際水準を学ぶ
- 途上国の家畜衛生の強化により、越境性家畜感染症の日本への侵入を防ぎ、日本の畜産業を守ることにつながる

